学力向上を図るための全体計画

東京都教育委員会目標練馬区教育委員会目標

各教科の指導の重点

- ○個に応じた指導の充実に取り 組み、より一層の基礎的・基本 的な内容の定着を図る。
- ○社会の変化に主体的に対応で きるように、体験的な学習を充 実させ、課題解決能力の育成を 図る。

特別活動の指導の重点

- ○全ての生徒が自分の良いところ が発揮できる活動を設け、所属感 や責任感を高める。
- ○節電やリサイクルなど環境に 配慮した学校生活になるよう取 り組む。
- ○ボランティア活動の充実を図 り、地域社会での所属感を高め る。

生活指導の重点

- ○生徒と向き合い、寄り添う生 活指導の充実を図る。
- ○各学年の実態に応じ、生徒の 規範意識と社会性を高める指導 を行う。
- ○教育相談を充実させ、「いじめ」の早期発見・早期対応を図り、各家庭との連携を強化し、 信頼関係を構築するとともに、 関係諸機関と連携を図る。

大泉第二中学校教育目標

人間尊重の精神をもち、国際化する社会において活躍できるよう夢や目標をもち、困難を乗り越える力を備えた生徒を育成するために、次の教育目標を定める。

- よく考える人になろう
- 進んで行動する人になろう
- ・責任感の強い人になろう
- 豊かな心をもった人になろう

本校における「確かな学力」

「生きる力」を育むための、知識・技能の 習得と思考力・判断力・表現力の育成を重視 し、言語活動の充実や健やかな体の育成を図 り、調和のとれた生徒の育成を目指す。

<重点目標>

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実践を図る。
- ②「分かる授業」「分からせる授業」を工夫し、 基礎的・基本的な知識と技能の習得を図る。
- ③生徒の関心や意欲を引き出す授業の工夫を図る。 ④家庭学習の充実を図る。
- ⑤読解力・表現力を高める工夫を図る。

進路指導の重点

- ○生徒に自己理解を深めさせ、将来の目標をもたせ、望ましい職業観を育むために、キャリアパスポートを活用してキャリア教育を推進する。
- ○生徒に卒業後の進路を主体的に選択させ、将来 の生活において自己実現を図ろうとする態度を育 てる。

学校や地域の実態

・学校は生徒が落ち着いて学習で きる環境にあり、地域の人々は学 校教育に協力的である。

保護者の願い

- ・生徒には基礎学力が身に付き、 将来の夢や目標をもち、自己の進 路実現を期待している。
- ・感謝と思いやりの心をもつ人に育ってほしい。

道徳教育の指導の重点

○道徳教育推進教師が中心となり、人権課題を取り上げながら、 全教師が協力して「特別の教科 道徳」の時間における指導方法を 工夫し計画的・継続的に実施する。

○生徒が自分自身の問題と捉え、 向き合うように「考え・議論する 道徳」の指導方法と評価について 工夫する。

総合的な学習の時間の指導

○生徒一人一人の興味・関心に応じた探究活動に取り組ませ、自ら課題を見付け、自ら学び、考え、より良く問題を解決しようとする態度の育成とともに、自己の生き方を考えさせる。

○カリキュラムマネジメントの核 となるように各教科の成果を生か す総合的な学習の時間の学びを推 進する。

本校の授業改善に向けた取り組み

指導内容・指導方 法の工夫

- ・「主体的・対話的で 深い学び」を目指し た授業に取り組む。
- ・授業のねらいを明確に示し、「分かる 授業」「分からせる 授業」を工夫する。
- ・ICT 機器を積極的に活用し、生徒の興味や関心を引き出す授業を工夫する。
- ・各単元に読解・表現する活動を入れる。
- ・数学の習熟度別指導 の実施。
- ・英語の学力向上支援 講師とティームティーチング による授業の実施。

教育課程編成上の 工夫

- ・朝読書の充実と落ち 着いた学習態度の育成 を図る。
- ・定期考査前の補充教 室や長期休業中の学力 補充教室の充実を図 る。
- ・東京グローバルゲートウェイの訪問や 英検 I B A などを実施することで、英語 学習のより一層の充実を図る。

校内における研究や研修の工 夫および小中一貫教育の視点

- ・校内研究授業の実践と 指導と評価の一体化につ いて研究する。
- ・大泉南小学校、大泉第 二小学校との連携を推進 し、新学習指導要領を踏 まえた課題改善カリキュラ ムの改訂に取り組む。
- ・中学校教育研究会など を活用して指導と評価の 一体化等について研修に 努める。

評価活動の工夫

- ・最初の授業でガイダン スを行い、評価方法につ いて説明する。
- ・各教科で「学びのススメ」 を作成し、評価方法につ いて生徒に周知する。
- ・授業公開のアンケート で外部の評価を授業改 善に生かす。
- ・学校評価のアンケート 結果を基にして授業改 善に生かす。

家庭や地域との連 携の工夫

- ・開かれた学校づくり を推進する。
- ・各教科で「学びのス スメ」を作成し、家庭 学習の方法を示す。
- ・地域の力を活用して 放課後や夏季休業中 の地域未来塾の充実を 図る。
- ・基本的な生活習慣の
- ・学校だより、学校ホ ームページの内容を 工夫し、大二中の魅力 を発信する。